

## TARCからのご案内

## ① 第15回TARCセミナーを開催いたします。

2025年2月26日(水) 17:30~18:30

演者：日本医科大学医学部医療管理学 特任教授、研究統括センター副センター長

松山琴音先生

演題：臨床研究とARO～今日からできる臨床研究はじめの一步

概要：臨床研究の計画や実施に何を準備すれば良いか、よく聞く用語の意味や、どんなことに気をつけないといけないか、わかっているようでわかりづらい領域ではないでしょうか。

本セミナーでは、臨床研究の初学者向けに、知っておくと良い規制や臨床研究の計画準備に必要なこと、さらにAROの活用方法についてわかりやすく解説します。

ハイブリッド開催(大学棟5階FRUミーティングルーム(505-4) + ZOOM) + オンデマンド(LMS) 配信です。

ぜひご参加ください。

WEB参加申込URL

<https://zoom.us/meeting/register/tJYkfu-urz8rH9H-QLZJYlg2XxUeZsbTTztq>

## ② 今年度も公開講座を開講中です(2025年3月31日まで)

ご質問の多いプロトコルにおける統計解析をはじめ、昨年度特別講義であった臨床研究における個人情報の保護や倫理指針、システムティックレビューなどを追加し、臨床研究の計画、実施にあたって、より実践的な内容になりました。公開講座へご登録いただき、ぜひご覧ください。

事前登録URL

<https://forms.office.com/r/LqCeGRydep>

タイトル	内容
イントロダクション 臨床研究の進め方と支援体制	①何をする？何をやればいい？本講義の目的と臨床研究概論 ②臨床研究の進め方-帝京大学版 ③臨床研究の支援体制-帝京大学版
研究デザイン	④臨床研究の種類、CQからのコンセプト作成 ⑤臨床研究デザイン-実行可能性を考えたプロトコル作成
倫理審査のポイント	⑥ランダム化比較試験(RCT)の倫理審査におけるポイント ⑦臨床研究における個人情報の保護
臨床研究体制の構築	⑧臨床研究システムの構築 ⑨臨床研究体制(チーム)の構築
臨床研究のデータ管理	⑩データとは&どんなデータをどう収集するか ⑪データの品質・信頼性とは？ ⑫EDCについて
臨床研究における解析 -基礎	⑬プロトコルにおける統計解析 ⑭統計解析の手法 ⑮サンプルサイズ設計
臨床研究における解析-メタ解析	⑯メタ解析
臨床研究の質 結果の公表	⑰臨床研究における品質マネジメント ⑱研究結果の評価と公表(報告書、Authorship等)
PMDA 承認審査	⑲PMDAの役割 ⑳医薬品等のライフサイクル ㉑アカデミア、RWDとPMDA
データベース研究・システムティックレビュー	㉒データベース研究について-リアルワールドデータを中心に ㉓システムティックレビュー

### ③ 医学統計勉強会

2023年度より開講いたしました公衆衛生学研究科 教授 宮田敏先生による医学統計勉強会を今年度も昨年9月～12月(全8回)に開催いたしました。今年度は、学内外に広くご案内し、ご参加いただいた方々より、自身の研究に役立つ満足度の高い内容であったとご好評をいただきました。

全8回分の資料、動画はTARC HP (<https://teikyo-tarc.jp/internal/medical-statistics-learning/>)に掲載されています。ぜひ、ご覧ください。



### ④ 第14回TARCセミナーのご報告

2024年7月17日に第14回TARCセミナーを開催いたしました。多くの方々にご参加いただきました。御礼申し上げます。今回は「臨床疫学と私：疑問を解決する方法」と題して、整形外科外傷医として活躍される帝京大学医学部整形外科学講座 乾貴博先生に観察研究についてお話しいただきました。患者さんを前にどの治療選択肢がよいのか、臨床で発生する「疑問」をどうしたら明らかにできるのか、具体的な臨床の例を用いて臨床疫学についてご説明いただきました。参加者からは、テーマが明確でわかりやすかった、大学教員の使命感を感じさせられ疫学研究をやりたいと思ったといったご意見に加え、具体的なレクチャーから論文の解釈といった実践の流れが勉強になり、続編を期待するといった声が寄せられました。

### ⑤ 2024年12月3日研究推進委員会からのご報告

帝京大学研究推進委員会は年に4回開催されています。今回、このような形でTARCレターにおいてご報告するのは初めてですが、委員長である理事長から報告の許可をいただきましたので、今回議論された内容の概要を報告します。

1. 2025年度のインキュベーション助成金・チーム研究助成金・特別研究プロジェクト(新規)の応募状況(11月15日締め切り)が報告され、2025年1月には採択の可否が決まるものと思われます。このようなスケジュールですので、来年こそはと思われる方は応募されることをお勧めします。
2. 文科省のオープンアクセス加速化事業に本学が採択され、全学的な対応が求められています。
3. 東大・帝京大・理研による脳科学アライアンスが設立され、10月29日にシンポジウムが開催されました。今回はスポーツ科学の「イップス」に関する研究も発表され、注目を浴びました。
4. AI活用ワーキンググループにて教育AI活用タスクフォース(TF)が立ち上がりました。また、医療AI・TFについても立ち上がりました。
5. e-APRIN受講頻度は、2025年度4月からは5年に1度の受講頻度とすることとなりました。
6. 産学連携推進センターでは特許3件が査定となり、4件が出願されています。特許取得ご希望の方は当該センターにご相談ください。

### ⑥ TARC HPのご案内

TARCのホームページでは、これまで開催したTARCセミナーや医学統計勉強会などのアーカイブ資料だけでなく、各種臨床研究に関する情報を掲載しています。



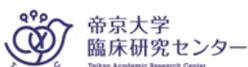
公開ページ URL:  
<https://teikyo-tarc.jp/>



TARC Vol. 19

発行日 2025.1  
発行元 帝京大学臨床研究センター  
発行人 寺本 民生

〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1  
TEL 03-3964-1211 (代) 内線45062



e-mail [tarc-info@med.teikyo-u.ac.jp](mailto:tarc-info@med.teikyo-u.ac.jp)  
URL <https://teikyo-tarc.jp>